

交流&トーク会

わくわく

アジアの仲間と話そう!これからの宮古〇~ゆめと船出~

アジアの社会活動家と一緒に これからの宮古について考えてみよう!

日時: 2019年3月10日(日)13時30分~17時

場所: イーストピアみやこ 2階多目的ホール

宮古市宮町1-1-30

料 金 :無料(要事前申込) 言 語 :日本語(通訳あり)

申込み :参加希望者氏名(複数の場合は全員分)、連絡先を電話・メールの

いずれかで下記問合せ先までお申し込みください。

問合せ :国際交流基金アジアセンター文化事業第2チーム(担当:工藤)

TEL 03-5369-6025 E-mail Maki_Kudo@jpf.go.jp

主催:国際交流基金アジアセンター

共催:宮古市、宮古市国際交流協会、NPO法人プラス・アーツ



宮古市出身 佐々木真琴さん

アジアの仲間と話そう!これからの宮古 - クゲス



佐々木 真琴 (日本) 宮古市出身、大学4年生。幼児向けの防災教育教材の原案をつくり、NPO法人プラス・アーツと共 同開発。様々な防災活動に関わる傍ら、平成30年8月より「宮古市PR隊 第1号」として宮古市よ り任命され、食とお酒を通じて宮古市を紹介するイベント活動など幅広く宮古市の紹介活動を行う。

ギラン (インドネシア) 地質学者として、インドネシア・ジョグジャカルタ特別州の防災研究所に勤務していた。 自身の知識を用い、コミュニティに防災活動が浸透するように活動を続けている。 ビンやペットボトルなどの廃材を再利用して作成した環境教育人形劇を実施している。



エヴァ (インドネシア) 高い分析能力と、コミュニケーションスキルを持つ、教育ファシリテーター。インドネシア遠隔地 の人々と連携し、今まで防災知識が届けられなかったところに防災教育を届けている。

ラルフ (フィリピン) 舞台デザイン、ビジュアルアート、彫刻を得意にするアーティスト。海外で上演された パフォーマンスの舞台のデザインをするなど幅広く活動している。現在はインドネシアのギラン らとともに彫刻の技術を生かし、立体地図模型を使った防災啓発活動を行う。





ライアン環境問題専門家、

(フィリピン) 教師、パフォーマーとしての顔を持つ。教育の普及を目指す団体での活動経験を 持ち、現在は環境問題を扱う団体でボランティア活動を続けている。

(タイ)

NGOに勤務しながら、コミュニティに根ざした環境問題を学べるエコツアーを実施している。 環境問題を解決する多くのプロジェクトに従事した経験を持つ。





ロビン (日本) 被災地の観光による復興という視点から、みちのく潮風トレイルを踏破し、 訪日外国人旅行客に向けて英語で東北を発信する「Explore Tohoku」というプロジェクトを実施。 Explore Tohokuホームページ: https://www.michinokutrail.com/

坂野 晶 (日本) 徳島県上勝町で、ゴミを出さない考え方・方法を広めるゼロ・ウェイスト運動を実施。 NPO法人ゼロ・ウェイストアカデミーの理事長を務めており、活動を通じた地域開発を目指す。





-。イザ!カエルキャラバンやHANDs! Projectのウェブサイトやポスター ザインを行っている。中東地域の難民キャンプの取材など、社会問題にも大きな関心を持つ。